

口頭発表一覧 第一日目 3月5日(木)

口頭発表 A

会場：国際会議場

時刻	演題番号	タイトル	発表者
15:00-15:15	O-A-1	スプリントのフットストライクパターンからみた下肢の力発揮特性	木梨 嘉紀 (筑波大学大学院)
15:17-15:32	O-A-2	陸上競技投てき競技者におけるMCT-jump testを用いた反動動作特性の種目間比較	前田 売 (京都先端科学大学)
15:34-15:49	O-A-3	国内誌と国際誌の比較からみる日本のコーチング学研究の特徴	中山 紗織 (筑波大学)

口頭発表 B

会場：会議室2

時刻	演題番号	タイトル	発表者
15:00-15:15	O-B-1	提示する映像の違いがドロップジャンプパフォーマンスに及ぼす影響	池田 昌史 (筑波大学大学院)
15:17-15:32	O-B-2	日本女子サッカーリーグの被ゴール期待値の作成とそれに基づく守備パターンの分類	村山 拓斗 (早稲田大学)
15:34-15:49	O-B-3	新体操選手のコンディションと生体電気インピーダンス法による位相角の関係	清水 花菜 (慶應義塾大学体育研究所)

口頭発表 C

会場：会議室3

時刻	演題番号	タイトル	発表者
15:00-15:15	O-C-1	全国高校野球選手権大会優勝チームにおけるメディセル療法を活用したコンディションに関する実践報告	福島 達也 (一般社団法人 日本メディセル療法協会)
15:17-15:32	O-C-2	連続ジャンプにおける動作と筋活動の変化	松野 延之 (筑波大学大学院)
15:34-15:49	O-C-3	胸骨に着目した姿勢の調整が歩行時の視点および心理状態に与える影響－高校生を対象に－	福岡 小百合 (筑波大学大学院／追手門学院中高等学校)

口頭発表 D

会場：国際会議場

時刻	演題番号	タイトル	発表者
16:00-16:15	O-D-1	長距離走の魅力や価値の発見を目指した授業実践－生徒Aの事例的考察－	金子 秀史 (上越教育大学附属中学校)
16:17-16:32	O-D-2	松脂の有無が水球のシュートパフォーマンスに与える影響 －シュート初速度とコントロールに着目して－	倉本 幸太 (筑波大学大学院)
16:34-16:49	O-D-3	競泳競技のハイパフォーマンスコーチングにおける実践知	奥野 景介 (早稲田大学スポーツ科学学術院)

口頭発表 E

会場：会議室2

時刻	演題番号	タイトル	発表者
16:00-16:15	O-E-2	スピードクライミングのアーテムに関する超越論的反省分析	北見 宗和
16:17-16:32	O-E-3	投球指導における下肢安定の再考－地面反力の再現性から－	長谷川 亜門 (筑波大学大学院)

口頭発表 F

会場：会議室3

時刻	演題番号	タイトル	発表者
16:00-16:15	O-F-1	大学生アスリートが認知する心理的安全性はThrivingを促進する －大学生アスリート版競技スポーツの心理的安全性尺度における構成概念妥当性の検討－	松原 旭飛 (日本体育大学大学院)
16:17-16:32	O-F-2	曲走路疾走における主観的努力度の違いが疾走速度、ピッチ、ストライドおよび 下肢筋活動に及ぼす影響	玉井 大貴 (筑波大学)
16:34-16:49	O-F-3	スポーツタレント発掘・育成事業の育成プログラムと支援体制の構築に関する質的研究 －オーストラリアのタレント発掘・育成事業関係者へのインタビュー調査－	小野寺 勝一 (筑波大学人間総合科学研究群/ ハイパフォーマンススポーツセンター/ 国立スポーツ科学センター)

口頭発表一覧 第二日目 3月6日(金)

口頭発表 G

会場：国際会議場

時刻	演題番号	タイトル	発表者
9:00-9:15	O-G-1	海外の大学におけるスポーツパフォーマンス分析授業の内容に関する試験的調査	橘 肇 (橘図書教材)
9:17-09:32	O-G-2	踏み込み脚方向の違いが打撃動作および打球特性に及ぼす影響	小田切 大也 (筑波大学大学院)
09:34-09:49	O-G-3	「園子のトレーニングサイクルモデル」再考 ー成立過程の検証と今後の研究課題の展望ー	山元 康平 (福井工業大学)
09:51-10:06	O-G-4	「コーチング学」に対する哲学的考察	佐良土 茂樹 (日本体育大学)

口頭発表 H

会場：会議室2

時刻	演題番号	タイトル	発表者
9:00-9:15	O-H-1	大学野球投手における投球速度と下肢力発揮能力の関係ークラスター分析による類型化ー	青木ピクター達哉 (筑波大学大学院)
9:17-09:32	O-H-2	フィギュアスケートのジャンプにおける評定値の客観化ー世界選手権における女子選手の2回転アクセルおよび男子選手の3回転アクセルの運動学的特徴と出来栄え点の関係ー	廣澤 壽士 (桐蔭横浜大学)
09:34-09:49	O-H-3	コーチによる対人暴力に起因した被害者の複雑性PTSDとQOLの相互影響過程ー交差遅延効果モデルによる短期継続的検討ー	豊田 隼 (東京大学・日本学術振興会)
09:51-10:06	O-H-4	地域タレント発掘育成事業出身の五輪メダリストに対するインタビュー調査 :アスリート育成パスウェイに着目して	山口 真未 (独立行政法人日本スポーツ振興センター)

口頭発表 I

会場：会議室3

時刻	演題番号	タイトル	発表者
9:00-9:15	O-I-1	リフレクティブ・ディスカッションがビストル射撃選手の競技パフォーマンスに及ぼす影響 —スプレッドシートを活用したコーチング手法—	佐々木 大輔 (早稲田大学大学院)
9:17-09:32	O-I-2	試合状況および戦術行動が得点機会の創出に与える影響について —2022年W杯における選手決勝進出チームの分析—	李 青翼 (早稲田大学大学院)
09:34-09:49	O-I-3	バレーボールスパイクにおける着地様式の選択要因 —空中動作の制御が着地の安定性に及ぼす影響—	豊島 笑 (筑波大学大学院)

口頭発表 J

会場：会議室4

時刻	演題番号	タイトル	発表者
9:00-9:15	O-J-1	卓球の打球方向予測における「読まれにくさ」の基礎的検討：低身長群と高身長群の比較	木村 直登 (神戸大学大学院)
9:17-09:32	O-J-2	仙台育英学園須江航監督のコーチング哲学ーエスノグラフィーを用いた検討ー	佐藤 直央 (日本体育大学大学院)
09:34-09:49	O-J-3	腹部ベルトの着用が運動パフォーマンスに及ぼす影響	佐々木 喜伸 (筑波大学)

口頭発表 K

会場：国際会議場

時刻	演題番号	タイトル	発表者
10:20-10:35	OG-K-1	運動部活動指導に対する潜在スポーツ指導者の発掘に関する研究：体育系学生におけるニーズ調査	上田 究 (広島大学)
10:37-10:52	OG-K-2	データサイエンスを基盤とした世界で戦うための新しいAIコーチング確立と近隣地域社会・学校への展開の可能性	塙野谷 明 (アジア・テニス・アカデミー)
10:54-11:09	OG-K-3	大学教養教育と連携した地域スポーツ指導体制の構築	柳田 信也 (東京理科大学)
11:11-11:26	OP-K-4	事例研究における生成AIを活用した教訓導出の可能性ーある大学野球選手の走壇改善事例における考察を例にしてー	金高 宏文 (鹿屋体育大学)

口頭発表 L

会場：会議室2

時刻	演題番号	タイトル	発表者
10:20-10:35	OG-L-1	地域移行期におけるジュニアバドミントンクラブと学校部活動の指導者の教育観についての研究	佐久間 浩平 (筑波大学大学院)
10:37-10:52	OG-L-2	部活動の地域移行における社会的責任と保護者の役割ーフランス・スタッドトゥールーザンの視察事例からの考察ー	小野澤 宏時 (常葉大学非常勤講師)
10:54-11:09	OP-L-3	ビーチフラッグスにおける3種類の起き上がりの測定と研究	江川 隼冬 (日本体育大学)
11:11-11:26	OP-L-4	2025高校総体（インターハイ）ローリング（ボート競技）で史上初4連覇を達成したチームのゆるトレーニングを導入したパフォーマンス向上の取り組みに関する実践報告	竹内 研 (吉備国際大学非常勤講師)

口頭発表 M

会場：会議室3

時刻	演題番号	タイトル	発表者
10:20-10:35	OP-M-1	陸上競技400m走におけるコーチとアスリートの気づきを促すフィットネステストの実践 ー複数大学合同の体力測定からー	安坂 丈壘 (福井工業大学)
10:37-10:52	OP-M-2	自転車競技トラック種目におけるスタンディングスタートのパフォーマンスと体力要素との関係	小嶋 海音 (日本体育大学)
10:54-11:09	OP-M-3	視覚に配慮をする生徒を対象に、テニス授業におけるモーションキャプチャーを用いた視覚的フィードバックがスイング動作に及ぼす影響 ～事例による授業実践の検討～	大竹 雄介 (明治大学付属明治高等学校・明治中学校/東京学芸大学大学院教育学研究科)